

は Nakabo (2002) に従った。目録で使した種の番号 (472. ~) は、前報 (工藤・山田, 2011) で記録した最後の番号に追録した。本報告の標本に関する記述は、標本番号、丸括弧内に標準体長 (SL) または全長 (TL): (複数個体の場合は個体数および範囲)、採集年月日、採集地、採集方法、採集者ならびに図版番号の順に記した。各種の相模湾における分布記録は、Senou *et al.* (2006) を参考とした。

調 査 結 果

本調査により、新たに 13 種が発見・採集され、合計で 484 種となった。また、分類が見直された 2 種と、工藤・岡部 (1991) で標本未収集のまま報告したもののうち 2 種の標本が得られたので、目録末尾に補足報告をした。

472. コケウツボ *Enchelycore lichenosa*

YCM-P 44967 (173.0 mm TL), Sep. 8, 2011, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 採集者: 山田 (図 2-A).

神奈川県から高知県の沿岸岩礁域に分布する。本種のパラタイプは三崎から得られたものである (Jordan & Snyder, 1901)。近年では、三崎周辺の刺網 (山田, 1990), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 館山湾 (萩原ほか, 2003; 萩原・木村, 2005) などから記録がある。益田・小林 (1994) に掲載された個体 (p. 16, fig. 4) の産地は伊豆半島となっているが、正確には伊豆海洋公園である。また、伊豆海洋公園から 2 標本が採集されている (IOP-2159 および IOP-2191; いずれも KPM-NI へ移管手続き中)。

本研究の標本は水深 2 m の岩棚の奥から採集された。

473. ネットアイフサカサゴ *Parascorpaena mossambica*

YCM-P 44640 (43.0 mm SL), Dec. 16, 2010, 城ヶ島赤羽根, 打上げ採集, 採集者: 山田 (図 2-B).

相模湾以南の沿岸岩礁域に分布する (中坊, 2000a)。益田・小林 (1994) に掲載された個体 (p. 81, fig. 2) の産地は伊豆半島となっているが、正確には伊豆海洋公園である。

474. アカブチムラソイ *Sebastes pachycephalus chalcogrammus*

YCM-P 45046 (168.6 mm SL), Apr. 16, 2012, 城ヶ島刺網, 採集者: 山田 (図 2-C).

千葉県小湊, 神奈川県三崎, 兵庫県神戸, 山口県下関の浅海岩礁域に分布する。相模湾では、神奈川県三崎 (中坊, 2000a) から記録がある。

475. ホッケ *Pleurogrammus azonus*

YCM-P 44944 (298.0 mm SL), Jan. 28, 2009, 江奈湾, 釣り, 採集者: 鈴木俊一 (図 2-D).

茨城県・対馬海峡以北の水深 100 m 前後の大陸棚,

産卵期には水深 20 m 以浅の岩礁域に分布する。相模湾の周辺においては、毘沙門定置網 (山田・工藤, 1999), 城ヶ島・小田原 (木幡・亀井, 1981), 東京湾中ノ瀬 (工藤・中村, 1999) などから記録がある。本研究の標本は、相模湾に面した小湾である江奈湾の水深約 3 m の砂泥底から釣獲された。2009 年冬・春季は親潮分岐流の南下が顕著で、東京湾口の走水や相模湾の大磯地先においても本種が漁獲された。

476. ハクセンアナハゼ *Pseudoblennius* sp. 4

YCM-P 45080 (49.0 mm SL), Apr. 18, 2011, 城ヶ島白秋碑前アマモ場, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 2-E).

京都府丹後半島沖と島根県沖から採集されている未記載種と考えられており、現在研究が進められている (中坊, 2000b)。相模湾初記録となる。本研究の標本は、腋部に鱗がなく、吻端は鈍く、側線中央部に小皮弁があり、尾鰭後縁はわずかに湾入することから、本種と同定された。

477. ミナミイケカツオ *Scomberoides tol*

YCM-P 45066 (117.0 mm SL), Nov. 4, 2011, 城ヶ島水産技術センター前, 徒手採捕, 採集者: 星野 昇 (図 2-F).

南日本の太平洋沿岸から琉球列島の沿岸浅所表層に分布し、相模湾では毘沙門の定置網 (山田・工藤, 2012) から記録がある。標本個体は岸壁前面に設置された貝類養殖筏の上から採集された。成魚の標徴が整っていない可能性があるため、主に Kimura *et al.* (1998) に基づいて同定した。

478. ヨコシマクロダイ *Monotaxis grandoculis*

YCM-P 44997 (53.1 mm SL), Oct. 14, 2011, 城ヶ島水産技術センター前, スキンダイビング, 採集者: 工藤 (図 2-G).

南日本の太平洋沿岸から琉球列島, 小笠原諸島の浅海砂礫・岩礁域に分布する。相模湾においては、伊豆海洋公園で標本が採集されており (KPM-NI 31491 = IOP-2991), 伊豆海洋公園 (KPM-NR 19311 ほか) と小田原市早川 (KPM-NR 85585 ほか) で生態写真が撮影されている。本研究の標本は水深 3 m の消波ブロック基部と砂地との境目に単独で定位しており、採集し損ねた際に一旦は逃避したが 30 分後に同じ場所に戻ってきた。

479. ニベ *Nibea mitsukurii*

YCM-P 44985 (49.4 mm SL), Jul. 29, 2011, 齊田浜, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 2-H).

仙台湾から宮崎県南部の浅い砂泥底に分布する。相模湾においては、小田和湾 (清水, 1979), 江の島から大磯 (亀井, 1979), 三崎周辺釣り (山田, 1990) などか

ら記録がある。

480. フエヤッコダイ *Forcipiber flavissimus*

YCM-P 44951 (73.3 mm SL), Aug. 18, 2010, 城ヶ島水産技術センター前, スキンダイビング, 採集者: 工藤 (図 2-I).

南日本の太平洋沿岸から琉球列島の岩礁やサンゴ礁域に分布する。相模湾においては, 横須賀市天神島 (林, 1982), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 伊豆海洋公園 (瀬能, 1992) などから記録がある。本研究の標本は, 水深 1 m に広がる平坦な岩礁が 3 m の砂地へと落ち込む崖の上縁部に単独で定位していた。

481. カマスベラ *Cheilio inermis*

YCM-P 44949 (54.7 mm SL), Aug. 17, 2011, 城ヶ島白秋碑前アマモ場, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 2-J).

南日本の藻場やアマモ場に分布する。相模湾においては, 横須賀市天神島 (林, 1995; 林ほか, 2000) から記録がある。益田・小林 (1994) に掲載された個体 (p. 253, fig. 7; KPM-NI 31494 = IOP-3181) の産地は伊豆半島となっているが, 正確には静岡県伊東市富戸地先の相模湾である。また, 伊豆海洋公園において 2 標本が採集されている (KPM-NI 31492 = IOP-1158 および KPM-NI 31493 = IOP-2242)。

482. オオカズナギ *Zoarchias major*

YCM-P 45073 (131.2 mm TL), Apr. 20, 2012, 城ヶ島白秋碑前アマモ場, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 2-K).

熊本県天草, 兵庫県香住, 大阪府岬町に分布するとされ, 相模湾においては初記録となる。本研究の標本は同属他種と比較して大型であり, 背鰭と臀鰭に明色帯を縁取る 2 本 1 組の暗色線があることでトビイトギンポ *Z. glaber* 並びにカズナギ *Z. veneficus* と, 背鰭前部の棘数が 28 本であることから 22 ~ 24 本を持つコモイトギンポ *Z. neglectus* と区別され, 本種と同定された。著者の 1 人工藤は, 東京湾内湾部の横須賀市走水で本種を採集した (YCM-P 44497: 120.9 mm TL)。

483. カモハラトラギス *Parapercis kamoharai*

YCM-P 44632 (67.3 mm SL), Dec. 2, 2010, 城ヶ島水産技術センター前, スキンダイビング, 採集者: 工藤 (図 3-A)

八丈島, 高知県, 和歌山県に分布する。相模湾においては, 横須賀市天神島 (林, 1982) から記録があり, 伊豆海洋公園では 2 標本が採集されているほか (KPM-NI 31495 = IOP-3534 および KPM-NI 31496 = IOP-3573), 水深 22 m で生態写真が撮影されている (KPM-NR 86580)。本研究の標本は, 水深 3 m の砂地に単独で定位していた。卵や仔稚魚が黒潮によって移送されたことによる偶発的な出現と考えられるが, 採集

日には約 50 m 離れた地点においてほぼ同サイズの別個体が確認された。

484. アラメガレイ *Tarphops oligolepis*

YCM-P 44984 (47.2 mm SL), Jul. 29, 2011, 斉田浜, サーフネット, 採集者: 工藤; YCM-P 45074 (71.5 mm SL), Jun. 27, 2012, 斉田浜, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 3-B).

石狩湾・千葉県以南の水深 30 m 以浅の砂地に分布する。相模湾においては, 小田和湾 (清水, 1979), 江の島から大磯 (亀井, 1979), 藤沢定置網 (山田・工藤, 1997), 横須賀市天神島 (林ほか, 2000), 館山湾 (萩原・木村, 2005) などから記録がある。

補 足

66. ヒラスズキ *Lateolabrax latus*

YCM-P 44988 (2 個体, 100.1-108.2 mm SL), Aug. 16, 2011, 斉田浜, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 3-C).

工藤・岡部 (1991) が, 目視観察に基づき標本未収集のまま報告した。調査海域では, 外洋に面した岩礁域に未成年から成魚が小規模な群れで来遊する。

89. コバンアジ *Trachinotus baillonii*

YCM-P 45085 (2 個体, 22.9-24.2 mm SL), Aug. 17, 2012, 城ヶ島白秋碑前アマモ場, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 3-D).

工藤・岡部 (1991) が, 目視観察に基づき標本未収集のまま報告した。調査海域では, 外洋に面した岩礁域から砂浜域の表層を, 単独または数個体で遊泳する未成年魚がまれに目視観察されていた。アマモ場における稚魚の出現は興味深い。

158. マタナゴ *Ditrema temminckii pacificum*

YCM-P 44978 (110.0 mm SL), Jun. 1, 2011, 城ヶ島白秋碑前アマモ場, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 3-E).

Katafuchi & Nakabo (2007) により, それまでウミタナゴ *D. temminckii* とされていた種は, ウミタナゴ *D. temminckii temminckii* と本亜種の 2 亜種, 並びにアカタナゴ *D. jordani* の 2 種 2 亜種に分けられた。うち, 工藤・岡部 (1991) の「158. ウミタナゴ」は本亜種に相当するので, 改めて標本を指定して訂正する。

264. アカメバル *Sebastes inermis*

YCM-P 44940 (198.0 mm SL), Apr. 18, 2011, 城ヶ島白秋碑前アマモ場, サーフネット, 採集者: 工藤 (図 3-F).

Kai & Nakabo (2008) により, それまでメバル *S. inermis* とされていた種は, クロメバル *S.*



図 2. A: コケウツボ *Enchelycore lichenosa*, YCM-P 44967 (173.0 mm TL) ; B: ネットアイフササゴ *Parascorpaena mossambica*, YCM-P 44640 (43.0 mm SL) ; C: アカブチムラソイ *Sebastes pachycephalus chalcogrammus*, YCM-P 45046 (168.6 mm SL) ; D: ホッケ *Pleurogrammus azonus*, YCM-P 44944 (298.0 mm SL) ; E: ハクセンアナハゼ *Pseudoblennius* sp. 4, YCM-P 45080 (49.0 mm SL) ; F: ミナミイケカツオ *Scomberoides tol*, YCM-P 45066 (117.0 mm SL) ; G: ヨコシマクロダイ *Monotaxis grandoculis*, YCM-P 44997 (53.1 mm SL) ; H: ニベ *Nibea mitsukurii*, YCM-P 44985 (49.4 mm SL) ; I: フエヤッコダイ *Forcipiber flavissimus*, YCM-P 44951 (73.3 mm SL) ; J: カマスベラ *Cheilio inermis*, YCM-P 44949 (54.7 mm SL) ; K: オオカズナギ *Zoarchias major*, YCM-P 45073 (131.2 mm TL)

Fig. 2. A: *Enchelycore lichenosa* ; 2: *Parascorpaena mossambica* ; C: *Sebastes pachycephalus chalcogrammus* ; D: *Pleurogrammus azonus* ; E: *Pseudoblennius* sp. 4 ; F: *Scomberoides tol* ; G: *Monotaxis grandoculis* ; H: *Nibea mitsukurii* ; I: *Forcipiber flavissimus* ; J: *Cheilio inermis* ; K: *Zoarchias major*.

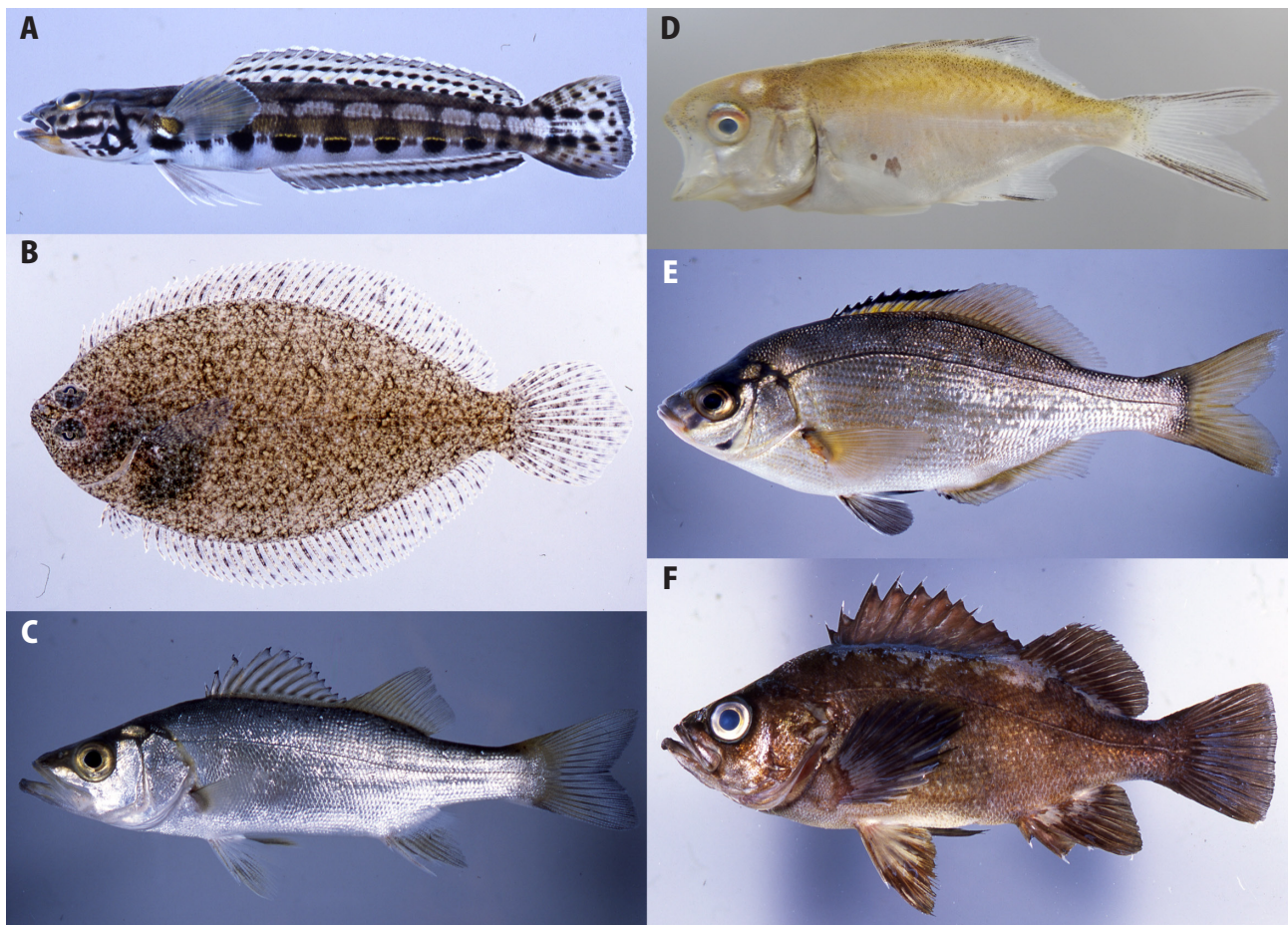


図3. A: カモハトラギス *Parapercis kamoharai*, YCM-P 44632 (67.3 mm SL); B: アラメガレイ *Tarphops oligolepis*, YCM-P 44984 (47.2 mm SL); C: ヒラスズキ *Lateolabrax latus*, YCM-P 44988 (108.2 mm SL); D: コバンアジ *Trachinotus bailloni*, YCM-P 45085 (24.2 mm SL); E: マタナゴ *Ditrema temminckii pacificum*, YCM-P 44978 (110.0 mm SL); F: アカメバル *Sebastes inermis*, YCM-P 44940 (198.0 mm SL).

Fig. 3. A: *Parapercis kamoharai*; B: *Tarphops oligolepis*; C: *Lateolabrax latus*; D: *Trachinotus bailloni*; E: *Ditrema temminckii pacificum*; F: *Sebastes inermis*.

ventricosus, シロメバル *S. cheni* 並びに本種の3種に分けられた。うち、工藤・岡部(1991)の「264. メバル」は本種に相当するので、改めて標本を指定して訂正する。

謝 辞

横須賀市自然・人文博物館学芸員の萩原清司氏からは標本の登録でお世話になるとともに、種々のご教示があった。鹿児島大学総合研究博物館の本村博之博士と(株)沖縄環境科学研究所の片渕宏志博士からは、それぞれネッタイフサカサゴとマタナゴの同定について助言をいただいた。三浦市松輪の遊漁船棒面丸の鈴木俊一船長、神奈川県水産技術センターの星野 昇氏からは標本を提供していただいた。また、神奈川県水産技術センターの櫻井 繁氏、中尾 満氏、山口利恵氏には、現地調査や試料の測定・整理で協力をいただいた。謹んで感謝の意を表する。また、本論文を査読いただき、有益な助言をいただいた横須賀市自然・人文博物館元館長の林 公義氏に対し厚く御礼申し上げる。

引 用 文 献

- 萩原清司・木村喜芳, 2005. 横須賀市自然・人文博物館所蔵魚類資料目録(IV)ー相模湾海洋生物研究会収集館山湾波佐間産魚類資料目録ー. 横須賀市博物館資料集, (29): 1-34.
- 萩原清司・木村喜芳, 鈴木宏和, 2003. 波佐間の魚類: ウツボの仲間. 伊豆海洋公園通信, 15(1): 2-3.
- 林 弘章・萩原清司・木村喜芳, 2000. 天神島・笠島およびオオツブ根周辺の浅海域魚類目録. 相模湾海洋生物研究会編, 芦名周辺サンゴ類生息状況調査報告書. pp. 41-63, 相模湾海洋生物研究会, 横須賀市.
- 林 公義, 1982. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類(V)ー横須賀市佐島地先の沿岸魚類リスト追捕・2ー. 横須賀市博物館館報, (28): 11-13.
- 林 公義, 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21(1): 243-258.
- Jordan, D. S. & J. O. Snyder, 1901. A review of the apodal fishes or eels of Japan, with descriptions of nineteen new species. *Proceedings of the U. S. National Museum*, 23(1239): 837-890.
- Kai, Y. & T. Nakabo, 2008. Taxonomic review of the *Sebastes inermis* species complex (Scorpaeniformes;

- Scorpaenidae). *Ichthyological Research*, 55(3): 238-259.
- 亀井正法, 1979. 相模湾砂浜海域(江の島～大磯)における魚類. 神奈川県水産試験場 編, 相模湾資源環境調査報告書Ⅱ(環境部門, 資源生物部門). pp. 167-186, 神奈川県水産試験場, 三浦市.
- Katafuchi, H. & T. Nakabo, 2007. Revision of the East Asian genus *Ditrema* (Embiotocidae), with description of a new subspecies. *Ichthyological Research*, 54(4): 350-366.
- Kimura, S., Y. Iwatsuki & J. Kojima, 1998. Descriptive morphology of the juvenile stages of two Indo-Pacific catangids, *Scomberoides lysan* and *Scomberoides tol* (Pisces: Perciformes). *Copeia*, 1998(2): 510-515.
- 木幡 孜・亀井正法, 1981. 大冷水塊消滅に伴う特異海況と相模湾における珍種の漁獲記録. 水産海洋研究会報, (39): 128-130.
- 工藤孝浩・中村良成, 1999. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類Ⅲ. 神奈川自然誌資料, (20): 45-54.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 29-38.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2001. 三浦半島南西部沿岸の魚類Ⅳ. 神奈川自然誌資料, (22): 33-42.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2011. 三浦半島南西部沿岸の魚類Ⅶ. 神奈川自然誌資料, (32): 135-141.
- 益田 一・小林安雅, 1994. 日本産魚類生態大図鑑. 468 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次, 2000a. フサカサゴ科. 中坊徹次 編, 日本産魚類検索 全種の同定 第二版, pp. 565-595, 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次, 2000b. カジカ科. 中坊徹次 編, 日本産魚類検索 全種の同定 第二版, pp. 628-250, 1533, 東海大学出版会, 東京.
- Nakabo, T. (ed.), 2002. Fishes of Japan with pictorial keys to the species, English Edition., lxi + 1749 pp. Tokai University Press, Tokyo.
- 瀬能 宏, 1992. 伊豆海洋公園に出現するチョウチョウウオ科魚類(予報). 生物飼育研究会誌, 3(2): 62-66.
- 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真資料データベース(KPM-NR)に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19-28.
- Senou, H., K. Matsuura & G. Shinohara, 2006. Checklist of fishes in the Sagami Sea with zoogeographical comments on shallow water fishes occurring along the coastlines under the influence of the Kuroshio Current. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (41): 389-542.
- 清水詢道, 1979. 小田和湾の藻場の魚類. 神奈川県水産試験場 編, 相模湾資源環境調査報告書Ⅱ(環境部門, 資源生物部門). pp. 187-191, 神奈川県水産試験場, 三浦市.
- 山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 95-102.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1997. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類Ⅵ. 神奈川自然誌資料, (18): 73-78.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1999. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類Ⅶ. 神奈川自然誌資料, (20): 55-59.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2012. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類ⅩⅦ. 神奈川自然誌資料, (33): 113-116.

工藤孝浩：神奈川県水産技術センター

山田和彦：相模湾海洋生物研究会

瀬能 宏：神奈川県立生命の星・地球博物館